

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	玉川温泉ビジターセンター	設置年	平成 9 年
所在地	秋田県仙北市田沢湖玉川字渋黒沢		
指定管理者	株式会社 玉川サービス		
県所管課	自然保護 課	調整・自然環境 チーム	

1 施設の概要

設置目的	自然公園の利用の促進を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に設置したもので、焼山を中心とした火山活動や自然環境等をわかりやすく展示解説している。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの					
	自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	敷地面積：18,947.40㎡ 建築面積：931.20㎡ 延床面積：802.93㎡					
主な設置施設	展示ホール（プロジェクションマッピング・ディスプレイ・パネル等）、休憩スペース、ワークスペース					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制） （無） （指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R3. 4. 1		～	R8. 3. 31	
	営業期間・時間	4月28日～11月4日		・	8：30～17：00	
		1 施設及び設備の維持管理に関する業務 2 前号に掲げるもののほか、センターの管理に関し知事が必要と認める業務				
自主事業の内容	1 木の実を使ったクラフト教室など自然学習活動 2 仙北市内や八幡平の写真パネル展や玉川温泉に関する情報展示 3 近隣施設及び関係機関からパンフレットや観光マップ等を取り寄せ、利用者への情報提供					
直近3年の年間利用者数	R4	7,039 人	R5	7,027 人	R6	6,859 人
直近3年の年間利用収入	R4	千円	R5	千円	R6	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入 計		5,148	5,406	5,036	5,119	5,062
利用料金収入						
指定管理料		5,148	5,406	5,036	5,119	5,062
その他収入						
支出 計		5,080	5,471	5,010	4,984	5,043
人件費		2,360	2,387	2,388	2,386	2,414
光熱水費					433	496
修繕費					59	115
外部委託費					487	469
その他経費		2,720	3,084	2,622	1,619	1,549
差 引		68	▲ 65	26	135	19

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	利用者数 8,000人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	6,859人	達成率	85.7%
	具体的な取組とその効果	パンフレットを近隣の宿泊施設や観光施設へ配布して来館を促した。また、クラフト教室の実施や季節の花を館内に飾るなどして誘客に努めた。しかし、梅雨の長雨や記録的な大雨の影響、主要展示物であるプロジェクションマッピングの故障により目標を達成できなかった。		
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度
	目標	7,000	8,000	8,500
	実績	5,807	7,039	7,027
	達成率	83.0%	88.0%	82.7%
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標			
	設定根拠			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	天候不順であったことに加え、主要展示物であるプロジェクションマッピングの故障長期化によって近隣宿泊施設が当ビクターセンターを積極的に紹介できなかったことが目標未達の要因と思われる。
県 (所管課)	B	プロジェクションマッピング設備の故障原因の特定に時間を要し、年度内の復旧ができなかった。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	83.8%		
	具体的な 取組と その効果	展示物「秋田焼山と玉川温泉の紹介」のプロジェクトンマッピングがほぼ通年故障状態だった。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	86.5%	88.5%	83.3%	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
		指定管理者	A
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	令和6年度支出実績5,043千円(前年比+59千円)
	具体的な 取組と その効果	消耗品費等の節減に努めたが、光熱費や物価の高騰により経費は前年比で増加となった。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	—
	具体的な 取組と その効果	—

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	エネルギーコスト上昇により光熱費や除雪費が計画および前年実績を上回った。
	県 (所管課)	B	経費の低減に努めて管理運営されている。物価高騰や人件費の上昇による経費の増加であり、やむを得ないもの。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置状況 管理業務実施計画どおり適切に職員を配置しており、繁忙日でも利用者に満足いただけるようにしている。 ・職員の勤務実績 利用者の満足度が高く勤務実績に問題はない。 ・施設・設備の管理 保守管理、定期点検、清掃等は適切に実施している。故障していたプロジェクションマッピングは11月中旬に修理完了となった。 ・備品の監理 備品台帳に記載されている備品がすべてあり、備品に目立った損傷等はない。
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設の運営管理を適切に行っている。
	県 (所管課)	A	適正な管理運営に努めている。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり)
県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

地域の自然や文化などの情報を展示・解説・発信する施設として、自然公園利用の増進と環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

○施設運営の課題

施設の老朽化

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

施設設備が劣化しやすい地域環境である。引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。